

千葉工業同窓会報

平成25年3月1日

第24号

発行 千葉工業同窓会



講演風景と講演後の校長室で松本校長と

目次

「松井画伯と裸の付き合い」	佐藤正樹……………2	オーストリア雑記帳 本場でスキーとギターの教師	屋代 昭……………17
松井守男画伯との出会い ………………2		外房ハワイアンダンディズ	松本信行……………18
楽しい同窓会づくり 検見川 津田沼 生実の 校歌を歌おう	高橋正己……………3	「陸上競技と私」	柏木 貢……………18
千葉工業高校と同窓会に感謝	松本 透……………3	私は障害者施設で介護の仕事をしています	假屋竜二……………19
外房新支部長に就いて	市川新一……………4	昭和も遠くなりにつけり	松岡豊彦……………20
千葉市中支部長 就任ご挨拶	古川仁司……………4	プロフィール 在学時代から今の私	高橋(馬場)実里……………20
千葉市中支部長 岡本保彦君を偲んで	木間英一……………4	千葉工業高校 この一年 ………………21	
総務委員会の活動報告	深山 傳……………5	・創立記念講演会 ・旋盤競技同好会ものづくりコンテスト関東大会出場・	
環境整備委員会の活動報告	大野繁樹……………5	技能五輪全国大会出場 ・機械発明創作部ロボット相撲 全国大会出場	
同窓祭実行委員会の活動報告	宮崎一雄……………5	・電気発明創作部 関東大会出場 ・自動車部 HONDAエコマイレッジ	
事務局報告	松浦 悟……………6	チャレンジ2012 ・弓道部 関東大会出場 ・山岳部JOC出場	
同窓会報基金191万円!! お礼とご協力をお願い	若月忠良……………6	・ベトナム国際交流事業 ・2年生がインターンシップ ・第60回 千工祭	
レクリエーション委員会の活動報告	木間英一……………6	・体育祭 開催 ・総合技術コンクール 知事賞受賞	
・ゴルフ同好会 ・麻雀同好会		平成24年度 進路状況(全日制) ………………23	
・囲碁同好会 ・ハイキング同好会		編集後記 ………………23	
千葉工業歴代の校長について(続編) 松本 透……………9		千葉工業同窓会 役員名簿 ………………23	
支部だより紹介 ………………12		第28回「同窓祭」開催のご案内 ………………24	
・南総支部 ・外房支部 ・千葉市西支部		同窓会総会の開催 ………………24	
・京葉支部 ・市原市支部 ・北総支部		原稿・情報をお待ちしています ………………24	
・東葛支部 ・千葉市東支部 ・千葉市中支部			



松井画伯と生徒たち（右から二人目 佐藤君）

僕が守男さんと出会った場所は、修学旅行で行った長崎の旅館の風呂場です。夜にもう一度風呂に入ろうと思い、自分と仲間3人で、消灯後に部屋を抜け出しました。先生に見つからないように、友達と見張りをしながら風呂に行くと、口にひげをたくわえたおじさんがいました。僕たちは「まずい、先生だ!」と思い、逃げようとしたのですが、先生ではなかったので、一緒に風呂に入ろうということになりました。

僕は人と話すことが好きなので、守男さんと一緒

に風呂に入りました。すぐに直感で、この人はこのあたりの人ではないと感じました。守男さんに職業をたずねると、「何の職業だと思っ？」と聞かれました。「外交官ですか。」という、「そのようなものだ。」と言われたので、世界を相手にしているのだと感じ、すごいと思いました。

風呂の中で意気投合したので、部屋に行くことになりました。そこで初めて、日本よりも、世界で有名な人だということを知りました。フランス代表の画家になるような日本人を、なぜ日本では紹介しないのか、不思議に思いました。近年低迷しているという日本の芸術界の中で、世界を相手に戦っている日本人がいる。ということで勇気づけられる人も多いと思います。

守男さんの部屋を出るとき、「どんなにつらいことがあっても死んではいけない。」と言われました。とても言葉に力があつたことを覚えています。

修学旅行でのこのすばらしい出会いは、僕の一番の思い出です。

松井守男画伯との出会い



修学旅行で訪れた長崎の宿で、生徒が偶然にも世界的に活躍している松井画伯と知り合いました。しかもお風呂の中で。まさしくはだかの付き合いから始まった縁で

した。偶然にお会いした松井画伯のおおらかさ、大きさに生徒も何かを感じたと思います。

その後、電子機械科3年 佐藤正樹君は長崎県にある松井画伯のアトリエにまでいきました。生徒を通して、松井画伯は千葉工業高校を大変気に入ってくださり、学校にも来られました。

さらにこの度の記念講演まで、快く引き受けて下さり、開催となりました。

記念講演では松井画伯の大作を背にとても熱く語っていただきました。自分自身の高校時代から留学中のことまで、大変貴重な体験は、生徒ひとりひとりの心に大きく響きました。今回のすば

らしい出会いは、こんなにも大きく育み、大成しました。

〈松井 守男画伯 プロフィール〉

(ウィキペディア (Wikipedia) より)

1942年愛知県豊橋市出身でフランスコルシカ島在住の洋画家。

武蔵野美術大学造形学部油絵科を卒業した後、フランスに渡り、パリを拠点に制作活動を始めた。同地ではアカデミー・ジュリアンやパリ国立美術学校に学び、パブロ・ピカソとの出会いによって大きな影響を受ける。

1997年にフェッシュ美術館（コルシカ・アジャクシオ）で個展を開催し、これを機にコルシカ島に拠点を移し、以後地中海西部の豊かな自然をモチーフとした作品を手がける。

2000年、フランス政府より芸術文化勲章、2003年にレジオンドヌール勲章を受章。近年は長崎の五島列島、久賀島の旧田ノ浦小学校の校舎をアトリエとして制作活動。

楽しい同窓会づくり 検見川 津田沼 生実の校歌を歌おう

千葉工業同窓会会長 高橋 正己 (32C)



時間(とき)の流れは速く、全国民が痛みを分かち合った3.11震災から2年が経過し3年目を迎えようとしています。福島からの転入生は元気に母校を巣立って行きました。

復旧復興の協力を風化させないためにもスピード感を持った対応

が望まれます。

さて、同窓会活動は皆様のご協力とスタッフの献身的な行動によって順調に推移しています。皆様に深く感謝申し上げます。

これからは、環境の変化に即した同窓会活動を構築していく事が必要となっています。

昭和30年初頭に発効した同窓会会則および諸規則、諸活動についての見直しを行なっています。また、支部会員の高齢化と会員の減少、多様な価値観と同窓会の在り方、活動原資の安定化など多岐に亘ります。

財団千工会に於いては、民法改正に伴う公益性のあり方が修正されました。財団千工会と歩む同窓会は、発展的持続性の認識を共有し取り組まねばならない課題です。

母校では平成25年度から企業、大学、行政、そして、地域と連携を図りながら県内工業教育の拠点校を目指す事になっています。

また併せて電気科1クラス増設となります。

平成28年度は進学を視野に入れた「理数工学科」の新設と…進化して行きます。

こうして変化する中で、仕事を離れて集うコミュニティーとしての同窓会の有り様も課題の一つです。一つ一つ見直して行く中で母校～財団～同窓会の強い絆を持って他校に類を見ない楽しい同窓会を目指して行きます。同窓生が新旧三校歌を歌い「楽しい同窓会」を皆で築いて行きましょう。

宜しくご協力をお願いします。

千葉工業高校と同窓会に感謝

千葉県立千葉工業高等学校 校長 松本 透



千葉工業同窓会の皆様には、ご清祥のこととお喜び申し上げます。

日ごろは、皆様の母校である本校の教育活動にご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

また、本年度は、校長として着任して2年目となりました。9つの支部のうち市原支部を除く7つの支部総会に出席させていただき、大変お世話になりました。残念ながら、市原支部だけは日程の調整がつかず、代理で副校長に出席していただきました。たいへん好評だったと聞いています。この原稿を書いている段階では、9つ目の3月行われる南総支部の総会を待つばかりです。楽しみにしています。よろしく申し上げます。

さて、昨年の3月に教育委員会から発表されました「県立学校改革推進プラン」によって、平成25年度に千葉工業高校は県内の工業教育の「拠点校」に、また、コンソーシアムという連携する組織の事務局を本校に置くことになりました。また、平成28年度には進学を視野に入れた学科「理数工学科」を設置することになりまし

た。そのため、本年度はその準備会議を数回開かせていただきました。特に、コンソーシアムはいわば「工業高校の応援団」と言った位置づけでしょうか。準備会議を開いて聞かれたことばは、「もっと工業高校は頑張れ。応援するよ。」というメッセージでした。

さて、私ごとで大変恐縮ですが、千葉工業高校には14年間お世話になりました。今年度で定年となります。平成4年から10年間、電子機械科の職員として、平成18年から2年間、教頭として勤めさせていただきました。平成20年から3年間船橋豊富高校の校長を勤め、普通高校の経験をさせていただいたのち、平成23年4月に校長として戻ってきました。

この間、平成8年には創立60周年記念事業に教務主任として関わらせていただきました。また、平成18年には創立70周年記念事業に教頭として関わらせていただきました。これらの周年記念事業は、財団千工会や同窓会の方々の御支援のお蔭で盛大に行うことができました。ありがとうございました。

最後になりましたが、千葉工業同窓会のさらなるご発展と会員各位のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、あいさつとします。

外房新支部長に就いて

外房支部長 市川 新一 (38M)



平成24年4月より第7代目の外房支部長を務めています 市川新一(38M)です。初代の道脇会長を除く5名の支部長経験の先輩方が健在ですので、困った時にはアドバイスを受ければとの軽い気持ちで引き受けました(何時もの事なのですが)。

小学生の頃に一宮川近くの沼地に吹き出る泡に用意した構内で点火して焚き火代わりにして遊んでいました。

そして高校卒業後焚き火の素の天然ガスを生業とする地元のガス会社に48年間勤めてました。在職時の後半では保安を担当する時期もあり過去の反省か 辻褄合わせか懸命に努めたつもりですが、後の祭りと言われるかも。これらの様な事例には事欠かない私ですから支部長の役割を果たすにはかなりしっかりとした心構えが必要と感じています。

外房地区ではすでに済んでいる大多喜高校と大多喜女子高校 白里高校と山武農業高校 茂原農業高校と茂原工業

高校の統合 話題となっている大原高校・勝浦若潮高校・岬高校の統合等、収縮の傾向が多く、圏央道開通が間近との膨張部分を差し引いても成長性は感じられません。

高度成長の真っ只中を過ごしてきた世代としては収縮の感が大です。

この様な地区の世情は組織の継続・成長を図るうえでは不安が多いですが、先日配布されてきたJR東海ツアーズのパンフレットに新大阪発でいすみ鉄道(昭和の国鉄型ディゼルカーキハ28・52連結貨切列車・伊勢えび弁当)と小湊鉄道(駅舎・車両に古くからの雰囲気)を堪能と募集がありました。日常すぎて気がつきませんでした。視点が変わると新しい商品ができると感じました。

外房支部のモットー「みんなで分け合って、やろう」が大きな力となる事を信じてわずかな知力と減衰の大きい体力・気力・飲力を総動員して微力ですが、精一杯頑張りますので、会員の皆様のご指導・ご協力をお願いして挨拶とさせていただきます。

千葉市中支部長 就任ご挨拶

古川 仁司 (25E)



平成24年2月「前支部長 岡本 保彦」が急逝しました。その後、副支部長 篠崎庄一郎氏が代行を務めました。7月の定期総会で後任として支部長に選出され、務めております。

7月末には脳梗塞を発症したが、現在は普段通りの生活を送っております。改めて健康がいかに大切わかりました。健康に留意しましょう。

千葉市中支部の目標は

①会員増に対して

会員皆様および友人・知人の紹介をいただき会員増を目指して一層の努力をしてゆきたいと思っております。ご協力をお

願います。

②行事計画について

同窓会本部、千葉市3支部の行事に協力・参加を従来どおりに継続してまいります。レクリエーション行事はゴルフ・グラウンドゴルフ(春・秋)・ビール工場見学・プロ野球ナイター観戦・日帰りバス旅行・マージャンを実施しております。千葉市中支部今回体調を崩して分かったことですが室内で実施する行事が少ないので検討したいと思っております。

③平成25年度は千葉市3支部が20周年を迎えるので、準備を開始します。

最後に、同窓会本部・地域支部・母校および中支部の皆様のご支援ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

千葉市中支部長 岡本保彦君を偲んで

木間 英一 (33C)

追悼

岡本君、何で先に天国に行ってしまったの。岡本君との卒業後の出会いは、30年程前の大多喜CCのロッカー室だった。お互いに誰だろうと不振顔でどちらからともなく、「ああ、お前 木間だろう?」「岡本だろう?」から回顧の会話をしてプレーのためその場は終わった。

以後、千葉の居酒屋『福酔』にて一杯やろうとの事から同窓生仲間が集まり酒宴を開き語り合った。その後、同窓会の支部活動にてより親交が深まり(33C会)もあり

同好会(ゴルフ、麻雀、ハイキング)にも参加し、家庭では好々爺、元気で楽しい老後を送っていました。残念ながら昨年病により俺より先に天国へ旅立ってしまった岡本君。本当に御疲れ様でした。

謹んで御冥福をお祈り致します。



岡本 保彦 君

総務委員会の活動報告

総務委員長 深山 傳 (38E)

本年は、公益法人改革の一環として「公益財団法人 千工会」が、「一般財団法人千工会」に移行されました。この事業内容は公益目的事業とその他事業に分類され、今まで助成を受けておりました『千葉工業同窓会』の位置付けはその他事業となり、正味財産の利息によって行われるため、円高等により利息が少なくなりますと、千葉工業同窓会は助成を受けることが出来なくなります。

近年アメリカで発生したサブプライムローン問題、リーマンショック更にはギリシャの財政破綻問題等々により円高傾向に続いているため、「一般財団法人千工会」からの助成が得られ無い状況になります。

このような社会情勢を踏まえて、千葉工業同窓会の健全な運営を維持するために、同窓会報に掲載して「千葉工業

同窓会報基金」へのご協力を呼びかけましたところ、卒業生の皆様方から多数のご協力をいただき、今まで通りの同窓会報が発行できました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

この貴重な財源を的確に有効活用するために、各支部へ本部からの助成金の減額をさせていただきましたが、各支部におかれましては色々工夫をされて従来同様な活動をされましたと伺っております。25年度以降もこのような運営を余儀なくされると思いますが、引き続きご協力をお願いいたします。

同窓生の皆さん、まだまだ厳しい社会情勢が続きますようですが、千葉工業同窓会の本部・支部の活動に参加し「楽しく、元気で、長生きをしよう」ではありませんか。

環境整備委員会の活動報告

環境整備委員会委員長 大野 繁樹 (36M)



24年度より学校側主体で実施する事になり、状況も大分変わりました。予算的にも厳しい状況で、植栽のお花の数も従来より少なくなる事に、実施も年2回程度になるとの事

になり、第1回目は5月29日(日)に1年生の美化委員と先生と学校主催の植栽で、委員会としては私だけ参加となりました。サルビアとマリーゴールドでした。

その後、種々検討はしているのですが、次回は卒業式、入学式を控えての2月頃に皆様にもご協力を頂き、植栽の計画をしたいと準備を進めて居る処ですので、ご協力をお願いします。

それから、ご報告になりますが、かねてからの問題の改善事項であった、①散水配管の改善、②玄関前右の植え込みの改修、③中庭の植え込みの改修、この3件が財団千工会からの特別予算確保支出によりまして、改修されました事をお知らせいたします。

今後の植栽予定は年2回程度ですので、学校側と皆様方のご協力を宜しくお願い致します。

同窓祭実行委員会の活動報告

同窓祭実行委員会委員長 宮崎 一雄 (42C)

平成24年4月15日(日)「第27回同窓祭」が母校にて開催されました。当日は、晴天で校庭では遅い桜が咲いており同窓生を迎えてくれました。

同窓祭のオープニングは「校旗入場」、中村先生(60E・千葉工業高校勤務)が旗手を務められていたが、その両手に握られた校旗を見ると、一気に学生時代にタイムスリップするのも伝統の力でしょうか。

続いて、北総支部金子総司会(38M)の進行により、物故者に対し黙祷を行い哀悼の意を捧げ、以下式次第に従い同窓会長挨拶、学校長挨拶、来賓祝辞等々と進行し、ノンアルコールビールによる乾杯後恒例の「吹奏楽OB・OGによる演奏」、喜寿となられる方に、会長から粗品の贈呈がなされました。

また、千葉竹とんぼ倶楽部による「スーパー竹とんぼ教室」が開催され、終盤の校歌斉唱で大変盛り上がりました。

【活動状況】

- ・4月15日(日) 「第27回同窓祭」実施
- ・7月27日(金) 第27回同窓祭 反省会
- ・11月30日(金) 第28回同窓祭 実行委員会
- ・2月15日(金) 第28回同窓祭 実行委員会
- ・4月21日(日) 「第28回同窓祭」予定

※同窓祭に参加され、アンケートにご協力を頂いた85名の方、ご意見有り難うございました。今後、同窓祭開催にあたり参考にさせて頂きたいと思っております。

事務局報告

事務局長 松浦 悟 (53E)

千葉工業同窓会は、平成24年度は下記の予算で活動しました。本会は母校への助成活動、会員の親睦を目的に活動しております。同窓祭や委員会活動、各支部の活動など、県下でも一番積極的な同窓会活動をしています。皆さまの参加をお待ちしています。

平成24年度の主な活動を報告します

平成24年	4月	8日	外房支部総会
		9日	入学式
	5月	15日	第27回 同窓祭
		21日	千葉市西支部総会
		6日	京葉支部総会
	6月	7日	常任幹事会
		13日	幹事会
		18日	創立記念講演
		20日	市原支部総会
	7月	3日	北総支部総会
10日		東葛支部総会	
17日		千葉市東支部総会	
平成25年	3月	2日	卒業式
		11日	南総支部総会
	10月	29日	支部長会議
11月	10日	千工祭	

平成24年度 同窓会予算 収入の部 (単位:円)

科目	金額
繰越金	9,875,437
同窓会入会金	1,589,000
助成金	0
繰入金	1,000,000
同窓祭会費	200,000
寄付金	0
雑収入	0
合計	12,664,437

支出の部 (単位:円)

科目	金額
名簿作成費	150,000
文化費	150,000
会議費	270,000
通信費	80,000
同窓祭費	200,000
支部助成費	804,000
レク活動費	100,000
環境整備支援	30,000
事務費	30,000
会報発行費	2,240,000
渉外費	216,000
予備費	0
繰越	6,994,437
名簿分担金	1,400,000
合計	12,664,437

同窓会報基金191万円!! お礼とご協力をお願い 広報編集委員長 若月 忠良 (37M)

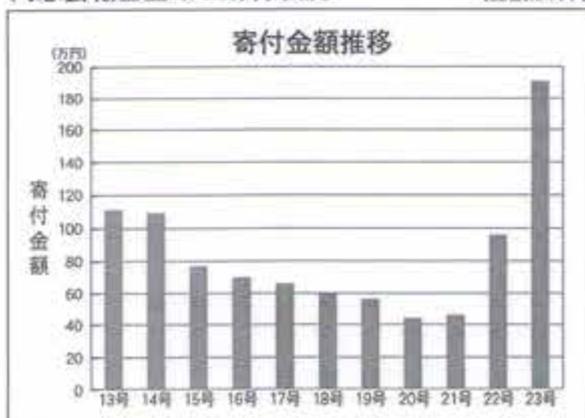
同窓会報基金は、23号では過去最高の191万円に達しました。会員皆様のご理解により多額のご寄付を賜り、有難うございます。基金は、同窓会報を在校生と卒業生の皆様方にお届けする為に、毎年発行の資金に充当させていただいております。

同窓会報は、卒業生の皆様からの貴重な同窓会報基金と一般財団法人 千工会からの助成金で発行しており、卒業生も2万人を超えており年々増加しております。

同窓会報基金のご寄付状況は、年々減少しておりますが、22号から増加に転じ、23号では191万円と約倍増となりました。我々編集委員一同大変感謝しております。なお、同窓会報の発行費用は230万円程度必要としております。発行に当たっては、今後とも経費の削減等考慮してゆきますが、願わくば、将来に亘り同窓会報

を毎年発行できる様に、皆様の更なるご支援、ご協力を頂きます様、切にお願い致します。

同窓会報基金のご寄付状況 (金額は万円)



レクリエーション委員会の活動報告

レクリエーション委員会委員長 木間 英一 (33C)



平成24年5月の総会にてレクリエーション (RE) 委員会委員長に任命されました33C卒の木間英一です。同窓会9支部の千工会RE同好会活動の縁の下の力持ちとして又、皆様方の活動の一助に成ればと努めますので関係各位の御協力宜しくお願い申し上げます。

尚、24年度活動報告及び25年度活動計画は各同好会事務局長からの報告を参照して下さい。

○ゴルフ同好会

ゴルフ同好会は102名が登録されています。ここ数年は新規登録者より体力的な事由での退会者が多く会員数は減少していますが、恒例の第14回コンペを平成24年10月16日「真名CCゲリープレイヤーコース」で57名の参加を得てゴルフ日和の中、団体戦・個人戦に自慢の腕前を発揮 楽しいゴルフを堪能されました。

成績は個人の部 優勝 立石 征男(千葉市西) 準優勝 濱田 徹(南総) 3位 文倉 秀正(外房)の各氏で団体の部 優勝チームはグロス72を記録した濱田 徹さんを擁する南総支部(濱田 徹・小原 幸治・吉原 茂) 準優勝 外房支部(文倉 秀正・花沢 久・市川 新一) 3位 京葉支部(鈴木 邦明・豊田 三男・萩原 光正)でした。

今年も参加者各位の厚意を「社会福祉法人千葉市社会福祉協議会」へ2万円寄付しました。



第14回本部秋健ゴルフ大会 於：真名CC 24.10.16

なお第15回大会は今年と同じく「真名CCゲリープレイヤーコース」で平成25年10月15日(火)に開催しますので、ゴルフ愛好者のみなさんの多数の参加をお願いします。

同好会への登録は各支部実行委員または事務局まで連絡をお願いします。

ゴルフ同好会事務局長 市川 新一 (38M)
電話 0475-23-1047

○麻雀同好会

平成24年度第17回大会は10月27日参加者32名により千葉市『麻雀・大都』にて開催され和気藹藹の中4時間30分の熱戦を繰り広げました。

尚、今回は何時もニコニコ顔の安藤元校長(ご逝去)、元気な岡本 保彦氏(ご逝去)、鈴木 俊雄氏(ご逝去)、石井 孝司氏(入院)の姿が見られないのが寂しい限りでした。また、体調を崩し参加が危惧されました佐藤 勇吉、古川 仁司両氏がお元気に参加されました。大会終了後席を「さくら水産」に移し反省会を行い談笑のうちに来年の再会を約し散会致しました。

大会成績は、個人戦：優勝 鳴田 東光氏(東葛)、準優勝：古川 仁司氏(千葉中)、3位：阿部 洋幸氏



(南総)。団体戦優勝：千葉市西支部 準優勝：東葛支部 3位：南総支部

平成25年度は10月26日(土)同所にて開催致しますので多数の御参加を!

麻雀同好会事務局長 木間 英一 (33C)
電話 047-343-0455

○囲碁同好会

囲碁同好会発足後10年目を迎え開催回数も42回を数えました。同窓会と同様に会員の高齢化が進み残念ながら毎回の参加者は病氣療養、死去等により母校生徒との交流会を除き一ケタ台になっています。

今年も当会では若手の鈴木 俊雄さんが7月の交流会に出席された後他界されました。ご冥福をお祈りいたします。

囲碁は頭の体操、脳の老化防止に最適です。同好の諸氏ぜひふるって御参加ください。

平成25年度の予定

第43回 4月23日(火)

第44回 7月30日(火)母校との交流会

第45回 10月22日(火)

第46回 26年1月22日(火)

※参加費は1,000円

大会終了後、希望者により近くの居酒屋で軽く一杯懇親を深めて散会です。これが楽しみの方も多いです。

囲碁将棋同好会事務局長 高橋 健一 (29C)

電話 04-7159-9367

○ハイキング同好会

ハイキング同好会は年2回活動しています。春は満開の桜を見ながらの名所、旧跡を訪ねてのウォーキング、秋は関東周辺の山々のハイキング(軽登山)を行っています。

今年の春は昨年中止となった「房総のむら」へのウォーキングを4月7日29名の参加者で実施しました。天気は快晴で絶好のウォーキング日和となり成田線の安食駅から古利龍角寺を経由して「房総のむら」へ。およそ7キロの道のりで皆様無事目的地へ到着しました。歩き続けてお腹が空いたところで各自昼食を取りました。園内は丁度桜まつりが開催されていて多くのイベントが行なわれていてとても賑やかでした。2時間の園内の散策も終わり午後過ぎになって天気が変わり一時雨模様となりましたが、下総松崎駅までの3キロを歩き合計10キロのウォーキングを無事終えそれぞれ我が家へと



帰路に着きました。

秋のハイキングは那須連山の茶臼岳(1915m)への登山を11月17日に16名の参加者で実施しました。バスは東北道を走り一路那須へ向かいました。当日の天気は全国的に悪く登頂は厳しいと思っていましたがとりあえず登ることにしました。ロープウェーで9合目まで行き頂上までの高低差242mへアタックしました。幸い空気が澄んでいて周辺の山々と那須の町並みが眼下に見える素晴らしい景色に満足しました。登り始めて暫くすると強風で前進するのが厳しくなり、また俄かに雲が垂れさがり視界が悪くなってきたので下山することになりました。外気温は氷点下になり下山の決断はジャストタイミングだった。冷えた身体を温めるため近くの板室温泉へ行き疲れを取ることにした。温泉に入り大広間で寛ぎながら楽しい昼食を取り話に花を咲かせました。今回は頂上までは行けませんでした。いつの日か再挑戦したいと思い、那須を後にして東北道を南下し帰路に着きました。

25年度も2回の行事を計画しています。なるべく会員の皆様方が参加できるハイキングコースを考えています。皆さん日頃足腰を鍛えて是非ご参加下さる様お願い申し上げます。

ハイキング同好会事務局長 腕木 武男 (38E)

電話 0436-63-7724

平成25年度 同好会開催予定

同好会名	開催日	開催場所
ゴルフ	25.10.15(火)	真名CC・GPコース
麻雀	25.10.26(土)	千葉市『麻雀・大都』
囲碁	25. 4.23(火)	西千葉囲碁センター
	25. 7.30(火)	
	25.10.22(火)	
ハイキング	26. 1.22(火)	桜の里公園と東京スカイツリー 奥多摩紅葉の御岳山
	25. 4. 6(土)	
	25.11.16(土)	

千葉工業歴代の校長について(続編)

第20代校長 松本 透

本校は、現在の千葉市中央区今井町(生実校舎)にあります。創立以来3回の移転をしています。昭和11年4月、千葉市立千葉工業学校(応用化学科1学科)として、千葉市港町(港町校舎)に創立しました。しかし、13年5月に校舎が焼失したため、14年4月千葉市花園町(花園校舎)に移転します。そして、昭和20年7月7日未明の空襲により校舎を焼失します。昭和21年1月、千葉郡津田沼町に移転します。昭和42年4月、千葉工業を千葉市内にということで現在のところに来たわけです。

「千葉工業歴代の校長について」は千葉工業同窓会東葛支部会報に第14代校長永峯清秀先生が初代井口校長から13代渡辺校長までの校長先生方の偉大さ、ご功績、お人柄について書かれました。その後、その文章を見られた方々からのご意見により、同窓会本部の会報に転載し広く同窓生の皆様に読ん

でいただくことになり、23年3月発行の「千葉工業同窓会報(第22号)」に掲載されました。

その続編をどなたか書いてほしいとの依頼が、永峯先生からあり、教諭、教頭、校長と13年勤めた経験のある松本におはちが回ってきました。私は永峯先生ほど歴代の校長先生を存じ上げていないのですが、千葉工業に教員として赴任した平成4年以降の校長先生には大変お世話になりましたので、私の知るところを記して役目を果たしたいと存じます。もちろん、思い違いや不明な点等多々あるかと思いますが、ご指導、ご叱責をよろしくお願い申し上げます。

【編集長より】 東葛支部報よりの転載です。松本校長、吉田支部長のご協力により掲載致しました。

14代校長 永峯 清秀

(平成10年4月～平成13年3月)



昭和16年3月生まれ 樺太庁豊原市(現ロシア・サハリン)出身

千葉第一高校卒、茨城大学工学部電気工学科昭和40年3月卒。教員になられてから、千葉大学工学研究科修士課程修了。

民間の会社にお勤めの後、千葉県の教員となり、千葉工業高校には教諭として昭和43年4月から16年間、教頭として平成元年4月から、校長として平成10年4月から3年間ご勤務されました。

私が教諭として、千葉工業に転勤する前の教頭です。赴任する前の3月に、事前に校務分掌の希望を聞かれたとき、「部活については、私が決めるので、希望は出さないように」と言われました。その結果、ハーモニカも吹けない私は「吹奏楽部」の顧問となりました。第3顧問でしたから、生徒には直接は被害はなかったのではとしました。

もっとも、私は葛南工業高校(現市川工業高校定

時制)が初任で、15年間勤務しました。そのとき、昭和61年から平成元年3月まで教頭先生でありまして、たいへんお世話になりました。

そして、平成10年4月から13年3月までの3年間、千葉工業高校の校長でおられるときに、私は電子機械科の教員で、総務部に所属していました。千葉工業高校の校長先生からの転任でしたが、転勤前の3月に、本校の4月以降の計画があり、たとえば、会議室の職員の座席は自由席でしたが、指定席にするために座席表を指示されました。

先生はご退職後も、松戸市にある専門学校の校長をされ、私が船橋豊富高校に勤務していたとき、ちょくちょく学校に来られ、様々なご教示をいただきました。

先生は、今でもことあるごとに相談に乗っていただいております。いわば千葉工業高校の生き字引と言ってよい存在です。

15代校長 須之内 義昭

(平成13年4月～平成15年3月)



昭和17年10月生まれ東京都世田谷区出身

麻布高校卒、千葉工業大学工学部電子工学科昭和42年3月卒。

民間の会社にお勤めの後、千葉県の教員となり、東総工業高校、茂原工業高校を歴任後、平成2年千葉県総合教育センターにて研修員、研究指導主事、平成4年県教委指導課産業教育係長兼指導主事、課長補佐兼産業教育係長、課長補佐兼主任指導主事、平成8年東総工業高校校長、平成10年京葉工業高校校長、そして平成13年千葉工業高校校長。先生は、平成15年

度からの新しい教育課程についてご検討され、作成されました。現在の美術と音楽の選択や進学と専攻の2つのコースを2年次から実施することが決まりました。また、千葉県工業教育研究会の大改革にも取り組み、組織のスリム化を行いました。

先生が校長先生としていらっしゃるときに、私を教頭にさせていただいた恩人です。

先生は、ご退職後も千葉県の工業高校のためにコーディネートをしておられます。一つは文部科学省と経済産業省の合同事業「ものづくり人材育成事業」に千葉県の工業高校が指定となり、民間企業と工業高校との間を取り持つコーディネートのお仕事をしていました。また、昨年より「ちばぎん総研」で工業高校と技術専門校との橋渡しのお仕事をされています。千葉県の工業系高校にとって大切な方です。

16代校長 青木 博一

(平成15年4月～平成17年3月)



昭和19年12月生まれ千葉県長生郡長柄町出身長生高校卒、千葉工業大学工学部機械工学科昭和42年3月卒。

大学の助手、民間の会社にお勤めの後、千葉県の教員となり、茂原工業高校、千葉工業高校を歴任後、平成5年から教頭として市川工業高校、千葉工業高校、京葉工業高校、そして校長として平成12年葛南工業高校(現市川工業高校定時制)、平成15年千葉工業高校。

先生は、私が平成4年に電子機械科の職員として赴任してきたとき、電子機械科の職員で、総務部長をされていました。その前は、電子機械科の科長をされており、本校の機械科を「電子機械科」に転科するときの責任者でした。たいへんなご苦勞をされ、見事数億円の事業を成し遂げられました。

また、私が教頭で葛南工業高校に赴任したときには、校長先生として同校にいらっしゃいました。教頭のあるべき姿を教えていただきました。ありがとうございました。

先生は、公私の別をはっきりさせるとともに、教員に対する面倒をよく見ておられました。特に、工業高校の先生ばかりでなく、葛南工業高校定時制の校長の時は、県内の定時制教頭にたいへん厚い思いを寄せていただき、当時の教頭にたいへん慕われていました。

17代校長 宮越 博文

(平成17年4月～平成19年3月)



昭和21年8月生まれ新潟県上越市出身

新潟県立高田工業高校卒、日本大学理工学部土木工学科昭和45年卒。教員になられてから、日本大学理工学研究科修士課程修了。

大学卒業後は建設省の技官等をされたのち、昭和50年千葉県の教員となり、茂原工業高校等を歴任後、教頭として葛南工業高校、茂原工業高校、校長として千葉大宮高校ののち平成17年千葉工業高校。

先生は、私が葛南工業高校の教頭で赴任したときの前任の教頭先生でした。葛南の教頭時代は、家が外房の陸沢町ということもあって、学校の近くにアパートを借りて勤務していたと聞きます。

また、千葉工業に私が教頭で戻ったときの校長でもありました。その年に70周年記念式典があり、校長の指導のもと、同窓会等の御支援をいただき、そのときの教員と生徒の協力により、すばらしい式典ができました。

さらに、本校のインターンシップについて、県の指定を受け、ピーク時には130名以上の生徒が企業にお世話になりました。インターンシップの導入とその発展に貢献されました。

18代校長 関谷 守

(平成19年4月～平成21年3月)



昭和24年1月生まれ 千葉県山武郡大網白里町出身

長生高校卒、順天堂大学体育学部体育学科昭和46年卒。

教諭として、長生高校、土気高校を歴任後、平成8年県教育庁生涯学習部体育課指導主事、学校体育係長、平成11年一宮商業高校教頭、生涯学習部体育課主幹、平成16年市立船橋高校校長、そして平成19年千葉工業高校校長。

関谷先生は、長生高校のご出身で、Qちゃん(高橋尚子)を育てた小出監督のもとで、高校時代陸上競技の5000メートルで全国優勝しました。また大学時代は順天堂大学で箱根駅伝に2回出場しました。

先生が本校に赴任されてきたとき、私は教頭でしたが、「小出監督に本校生徒向けの講演をお願いしようと思うがどうだろうか」と聞かれました。「是非お願いします。生徒はたいへん喜ぶと思います」と応えた覚えがあります。すると、その場で小出監督に電話をされました。創立記念講演会は例年5月の連休中ですが、その期間は秋田県で合宿中とのことでしたので、別の時期になりました。9月に行われた講演会には、本校生徒・職員ばかりでなく、千工会・同窓会、保護者、地域の方々など多くの方々がお見えになりました。また、専門が体育と言うこともあり、部活を通して人間形成に力を入れられ、工業系の部活にも深い理解を示されました。現在全国レベルの活躍をしている礎を築いていただきました。さらに、ベトナム・ハノイ工科短期大学との姉妹校交流の締結、生徒会館の改修なども忘れることができません。先生は、私を校長に出してくれた恩人でもあります。

19代校長 天野 角男

(平成21年4月～平成23年3月)



昭和25年10月生まれ 山梨県大月市出身

山梨県立都留高校卒、東洋大学工学部土木工学科卒、同大学院工学研究科土木工学専攻昭和51年修了

教諭として昭和51年京葉工業高校、昭和55年茂原工業高校、昭和58年京葉工業高校、教頭として平成12年東総工業高校、平成14年清水高校、校長として平成19年市川工業高校、そして平成21年千葉工業高校。

天野先生は、お住まいが千葉市にあった教頭時代

は、東総工業高校で2年、清水高校で5年勤務されました。遠距離通勤でご苦労されたと聞いております。

先生は本校に校長として赴任する前の市川工業高校時代から千葉県の進路指導部会の会長をされるとともに、関東地区の進路指導研究会の会長と全国の副会長を3年間され、全国や関東地区の進路指導の発展に貢献されました。昨年は、ハノイ工科短期大学のピン学長を本校に迎え、盛大な歓迎会を催したと聞いています。

また、本校においては、事務職員の不祥事等の処理に奔走されました。お疲れ様でした。

私が本校に校長として赴任してから、全国の理事としての引き継ぎを兼ねて全国工業高等学校長協会の本部がある「工業教育会館(飯田橋)」に案内していただきました。そして、関係の全国の役員の校長先生に紹介をし、スムーズな移行をさせていただきました。

第11代校長 安藤 隆義先生 第12代校長 鈴木 和美先生 ご逝去される

安藤先生は、昭和63年に前県立若松高等学校校長から第11代校長として本校に就任されました。先生は機械科から電子機械科への改変等、平成3年までの3年間、ご尽力くださいました。

誠に残念ながら、平成24年7月18日、永眠されました。

鈴木先生は、平成3年に県立京葉工業高等学校校長から第12代校長として本校に就任されました。先生は校旗新調や家庭科実習棟竣工等、平成6年

までの3年間、ご尽力くださいました。

誠に残念ながら、平成24年8月29日、永眠されました。

先生方のお力により、千葉工業高校は発展してまいりました。ご退職後も、歴代校長先生として、母校、同窓会にご支援いただきました。また、お二人とも同窓祭、支部総会などに数多くご参加くださり、我々、同窓生にご教授くださいました。ご冥福を心よりお祈りいたします。

支部だより紹介

東日本大震災発生から、はや3年経とうとしております。復興は遅々としており被災された方々のご苦労は大変だと存じます。千葉工業同窓会も世の中の経済と同様に厳しくなっております。

千葉工業の卒業生も2万名を超え、創立80周年も身近になってきています。千葉県の各地域には9つの支部があり、それぞれにハイキング、懇親会、ゴルフ、旅行等、先輩、同輩、後輩の年の差もなく活発に活動しております。是非、この機会に支部に加入して参加してはいかがでしょうか。各支部長等にご連絡ください。

各地域支部 定期総会開催予定

	支部名	地 域	開催月日	開催場所
①	南総	袖ヶ浦、木更津、君津、富津、鋸南町以南	3月10日(日)	君津市 ホテル千成
②	外房	東金、山武、大網、茂原、長生、夷隅	4月 7日(日)	東金市 八鶴亭
③	千葉市西	千葉市美浜区、花見川区、稲毛区	4月27日(土)	千葉市 プラザ菜の花
④	京葉	船橋、鎌ヶ谷、習志野、八千代	5月12日(日)	船橋市 割烹 玉川
⑤	市原市	市原市全域	5月19日(日)	市原市 五井グランドホテル
⑥	北総	成田・栄、佐倉、四街道、八街、酒々井・富里、印西、香取	6月 2日(日)	四街道市 四街道文化センター
⑦	東葛	市川、浦安、松戸、柏、我孫子、野田、流山、県外	6月 9日(日)	我孫子市 鈴木屋本店
⑧	千葉市東	千葉市若葉区、緑区	6月16日(日)	千葉市 プラザ菜の花
⑨	千葉市中	千葉市中央区全域	7月14日(日)	千葉市 プラザ菜の花

*開催月日、場所は変更がある場合もあります。各支部にご確認ください。

◎支部だよりの○数字は定期総会開催日の順番、支部長名、連絡電話番号、地域、総会開催日、総会場所

①南総支部だより

支部長 齊藤 誠一郎 (37E)

●電 話/0439-52-3059

●地 域/袖ヶ浦、木更津、君津、富津、鋸南町以南

●定期総会/平成25年3月10日(日) 君津市 ホテル千成

木更津港まつり花火大会見物が、8月15日に開催されました。大勢の人が集る花火大会に、南総支部のお席を用意して楽しむものです。2011年は震災の影響で各地の花火大会が中止となる中、木更津の花火大会もありませんでした。今回は無事に開催するとのことで、準備に入りました。

この場所取り、10年位前では、数日前に行えば充分間に合ったのですが、年々早まりました。そのうち有料観覧席の出現で見物席が少なくなり、場所が確保出来ず、花火見物を中止する年もありました。近年では、花火大会実行委員会より「事前の場所取りは禁止、ガムテープなどは撤去する」とのことです。当日の朝早く、木更津在住の役員がブルーシートで見物場所を確保、その後数名でシートが風で飛ばないか、確保した場所を他の人に取られないかと思張っているのですが、真夏の炎天下の中、熱中症にならないかと心配しながらの見張りでした。

夕方になり、まだまだ暑いのですが、会員の皆さんが集り出して来ました。たこやき、やきとり、飲

み物なども準備できました。かなりの人が集り、道路、見物場所にあふれています。混雑の中、見物場所にたどり着けない会員もいて、携帯電話で連絡を取り、役員が迎えに行くこともありました。

さて、肝心の花火の方ですが、例年通りと言った感じで、前回の中止の分も含めてドーンと期待していた人にはチョット寂しかったかも・・・。

しかし、今回は特に初参加の方が多く、会員のご家族の方も来て頂いて、ブルーシートにいっぱい人が集り、見物場所を昼間から準備していた者にとっては、大変嬉しかったです。役員としては一所懸命に準備していますが、大先輩から見ると、まだまだ不十分のようで、お叱りを頂いています。次回も会員皆さんが多く集まり、楽しめるようにしていきたいと思えます。

南総支部では、花火大会見物の他に、3月に総会、5月に潮干狩り、11月に秋の親睦宿泊旅行、また、各地区の懇親会、集まろう会など開催しております。皆様のご参加お待ちしております。

②外房支部だより

支部長 市川 新一 (38E)

●電話/0475-23-1047

●地域/東金、山武、大網、茂原、長生、夷隅

●定期総会/平成25年4月7日(日) 東金市 八鶴亭

事務局 吉清 貴(34C)

平成24年度新体制がスタートして早くも半年を経過しました。幹事会(7回)などで、本部活動の報告、各種レクリエーションへの参加、外房地域イベント情報の提供を行っています。近頃、役員間で体調を崩され会議への欠席が見られ心配になってきました。

本年の外房支部および地域で主なイベント等も含め3件ご披露いたします。

◎外房支部忘年会

12月7日に茂原市内「しおさい」で開催し22名が参加されました。顧問の石井さん(20C)、同期の段木先生もお元氣な姿で出席され、更にハーモニカの名手吉田さん(33C)が演歌中心のプログラムで全員の手拍子も加わり熱演された。遠路八王子から駆けつけられた斉藤さん(32M)は現役続行中で意気軒昂でした。飲むほどに趣味談義など思い思いに語り、時間を忘れて賑やかな雰囲気の内にお開きとなった。

◎第38回千葉県民写真展で入賞

会報「そとぼう」の表紙を担当頂いている並木さん(34M)、小高さん(32E)、志賀さん(31C)の3氏が去る12月11日から県立美術館で開かれた全日本写真連盟主催の展

覧会で見事入賞されました。おめでとうございます。作品名は次のとおりです。

*特選1席 課題自由「夏の思い出」並木 高德

*審査委員長賞 課題まつり「踊り娘」小高 豊和

*入選 課題まつり「悪霊撃退」志賀 俊夫

機会をみて会報へ掲載をお願いする予定です。

◎いすみ鉄道「キハ28」号のサポーター誕生

ご存知のとおり鉄道ファン垂涎のレトロ気動車「キハ28」号が昭和39年製の唯一生き残りとしていすみ鉄道が譲り受け、約50年振りに「外房地区」大多喜駅に里帰りした。10月21日のお披露目以降、サポーターが増え続けいすみ鉄道が熱くなっているようです。久しぶりに試運転のエンジン音を聞き、排気煙も見ました。



③千葉市西支部だより

支部長代行 湯浅 秀男 (34M)

●電話/043-271-6661

●地域/美浜区、花見川区、稲毛区

●定期総会/平成25年4月27日(土) 千葉市 プラザ菜の花

石井孝司支部長が8月頃体調を崩され、しばらくの間支部長の職務が遂行できないということで、回復されるまでの間支部長代行を務めることになりました湯浅と申します。

同意会活動は、会員相互の親睦を図ると共に会員の文化のおよびスポーツ的な趣味にあわせて各種行事に参加していただいております。

本部主催、支部主催、千葉市三支部主催の行事はつぎの通りです。

- 1 本部主催ハイキング房総の村 4/7
- 2 本部主催同意祭 4/15
- 3 第15回西支部長杯ゴルフ大会 4/18
- 4 西支部定期総会 4/21
- 5 第17回支部共済チャリティゴルフ大会 5/15
- 6 第17回西支部麻雀大会 5/19
- 7 第15回グランドゴルフ大会 6/2
- 8 マリンフィールド・ロッテ応援対楽天 8/4
- 9 暑気払い「サッポロビール見学とバーベキュー」 8/1
- 10 第16回西支部長杯ゴルフ大会 9/1
- 11 西支部懇談会 9/1

12 日帰り研修旅行「芝山はにわ博物館他」 9/2

13 第15回本部チャリティゴルフ大会 10/1

14 第17回本部麻雀大会 10/2

15 第16回グランドゴルフ大会 11/9

16 本部主催ハイキング茶臼岳 11/17

17 西支部忘年会 12/22

本部主催麻雀大会において西支部は団体優勝、また本部主催ゴルフ大会で立石征男氏が個人優勝をしました。

これらの行事に積極的に参加し同意会活動をより一層活発にしたいと考えております。

また来年度は、支部創立20周年を迎えますので千葉市三支部合同で祝賀会を開催することを検討しております。



④京葉支部だより

支部長 川村 義郎 (40M)

●電話 / 047-451-0247

●地域 / 船橋、鎌ヶ谷、習志野、八千代

●定期総会 / 平成25年5月12日(日) 船橋市 割烹 玉川

坂井 元昭氏「習志野原の変遷」講演

京葉支部 宇野 昭房

平成24年7月1日(日)船橋市習志野台公民館において、～その歴史と軽便鉄道のある風景～と題して話された。

戦中・戦後の習志野原の変遷を一住民、そのころは子供の目線で見た情景など分かりやすく説明、多くの聴講者の傾きを見ることができた。

習志野原と言えば陸軍鉄道第二連隊の活躍・平時の訓練＝鉄道網の拡張整備について、その歴史と成果について説明された。

当日は180席が満席になり、本人の心配を払拭した。講演後も、話の内容についての質問・共感やらあって、話の輪が広がって散会となった。



【坂井元昭氏略歴】

昭和15年11月生まれる。地元小・中学校卒業。昭和34年千葉工業機械科卒業。就職自動車整備を経て、5年後、家業の洋食「江戸家食堂」を引き継ぐ。平成8年7月現在のテイクアウト専門「江戸家ぎょうざ」店を開店する。その間藤崎地区の水害対策解消に尽力、大久保商店街役員をはじめ地元の活性化に活躍の毎日です。

⑤市原市支部だより

支部長 大野 繁樹 (36M)

●電話 / 0436-74-5753

●地域 / 市原市全域

●定期総会 / 平成25年5月19日(日) 五井グランドホテル

23年の市原市支部定期総会は、五井駅に近い方も便利に利用していた五井サンプラザが使えなくなる、という事で日程、会場を変更したために、大変ご迷惑をおかけいたしました、申し訳ありませんでした。これからは五井グランドホテルで実施していくことになると思います。少し駅から歩きますが、会場の状態も悪くなく、ホテル側も良く協力してくれるので良いと思います。

市原市に卒業生は沢山居ると思いますが、会員の増、役員の増、若い会員の開拓につとめてはいるのですが、仲々思う様にはいかないのが現状です。支部としての大きなとりくみもありますので、グランドゴルフ、ゴルフ、ハイキング等に参加を呼びかけて、仲間を多くしていきたいと思っています。

市原市支部ではグランドゴルフ大会を毎年実施しており、24年は第7回目の実施となりました。レベルも少しずつ上がっております。手軽にできる楽しいスポーツです。千葉市3支部でも毎年2回の実施予定です。他の支部でも経験者が居る様ですので、

各支部対抗のグランドゴルフ大会が実施できる様に要望し、一人でも多くの関心をもった人が増え、楽しい同窓会になります様に働きかけたいと思います。



五井グランドホテルは約20数年前に市原市支部再建総会を実施した会場でもあります。

⑥北総支部だより

支部長 早尾 茂 (26E)

●電話/043-422-8825

●地域/成田・栄、佐倉、四街道、八街、酒々井・富里、印西、香取

●定期総会/平成25年6月2日(日) 四街道文化センター

北総支部は、千葉県の北部地域（主に印旛都市と香取郡市）をエリアとする同窓会本部の下部組織として、平成3年3月に創立されて22年を経過している。会員数は一時は200名を超えたが現在は130名ほどになっている。総会は毎年6月の第一日曜日に開催し、区域が広い六つの地区に分割し、総会場所を地区持ち回り制としています。

支部の行事にはいろいろあるが、まずゴルフ愛好者による“ほくそう杯”ゴルフコンペを年2回（通算27回）開催し、大勢が参加している。レクリエーション行事は、年2回趣向を凝らしながら奥様同伴により楽しく行っています。また、1月には新年顔合わせを兼ねて“新春散歩会”を計画し、地区持ち回りで実施している。

また、年度の下期には六地区ごとに地区長召集により、地区懇談会が計画され支部三役を含めて会員が集まり近況を報告し合っている。会合の終わりには皆で校歌を合唱するなどして盛況です。

会報は年2回発行し、会の活動状況等を取りまとめて会の歴史に残すとともに会員に配布しています。（現在42号まで発行済）このようにして千葉工業同窓会の組織は、母校をベースとして本部があり、その元に下部組織として県内に九つの地域支部を持ち、それぞれが有機的に連携しつつ絆は固く、お互いに支え合いながら活動を続けています。

当支部の役員は20名ほどおり、現支部長 早尾茂氏(26E)は三代目である。初代の支部長 岡村務氏(18M)と二代目支部長 大野廣氏(28C)は、すでに鬼籍に入られています。



ホテルリッチタイム(佐倉市)

⑦東葛支部だより

支部長 吉田 勝彦 (32E)

●電話/04-7191-0232

●地域/市川、浦安、松戸、柏、我孫子、野田、流山、県外

●定期総会/平成25年6月9日(日) 我孫子市 鈴木屋本店

当支部は同窓会組織として、9支部の中で一番新しく、範囲は柏市、松戸市、野田市、流山市、我孫子市、市川・浦安市在住の同窓生が中心で平成11年6月20日創立しました。

現在は県外同窓生の加入もあり、二代目吉田支部長の元で運営され、平成26年6月には15周年を迎えます。毎年奇数月の第4土曜日15時から、高柳近隣センターで役員会を開催し、議題の討議と本部・他支部の主な状況報告等を行い、参加した役員全員で話し合います。支部行事としては海釣り、バーベキュー会、ハイキング等の計画実施、また本部主催のゴルフ大会、ハイキング、麻雀大会に参加、他支部行事にも積極的に参加しています。

例年総会後の懇親会では、ユニークなアトラクションを演出しており、総会に出席された来賓の方々からは高い評価をいただいております。

平成24年9月の役員会で主な議題の一つ、「経費節減について」話し合いました。平成24年4月1日

から「千工会」が一般財団法人となったことで、本部からの助成金が減額され、また支部会員の増員も難しい現状であることが主な要因です。

討議の結果

- (1)年2回発行していた会報を年1回とする。
- (2)定期総会で決議された議題については、集約したレジメを作成して総会に出席されなかった会員の方々にだけ送付する。
- (3)他支部の総会に来賓として出席する際の費用は支部から3000円を支給、2000円は個人負担とする。

以上の3件が話し合いの上決定されました。

毎回のこととなりますが、会議終了後は近くにある居酒屋「かつ美」に席を移し、先輩後輩の垣根を越えて会議とは別の雰囲気、参加した人たちが思い思いに語り合い楽しい一時を過ごします。そんな家族的雰囲気を持ち合わせている「より楽しく、より有意義に」をモットーの東葛支部です。

⑧千葉市東支部だより

支部長 吉田 稔 (33M)

●電話/043-291-6690

●地域/千葉市若葉区、緑区

●定期総会/平成25年6月16日(日) 千葉市 プラザ菜の花

平成24年度の「千葉市東支部」の状況を報告致します。

1 組織の現状

現在の会員数は65名ですが、最近では物故者や闘病による休会なども目立ちます。一方で若い方を含めた新規入会もあり頑張っています。特に本年は将来を託せるような会員と連絡がとれるなど明るい話題もあります。引き続き若手の入会と各種行事への参加を呼びかけていきます。なお会員からは出来るだけ多く「役員」に就任してもらい当事者意識を共有しながら活動しています(現役員18名)。

2 活動行事について

一昨年は「東日本大震災」の影響を受けましたが、本年は予定行事を順調に実施して多くの会員に参加して頂き、先輩後輩と懇親を深めることが出来ました。本年も延べ160余名の会員が各種行事に参加しました。関連行事は以下のとおりです。

○本部・他支部主催行事では「同窓祭：4月」「ハイキング：4月と11月」「ゴルフ大会：5月と10月」「麻雀大会：5月と11月」

○千葉市3支部共催行事では「グラウンドゴルフと懇親会：6月と11月」「ロッテ応援ナイター観戦：7月」

「ビール工場見学と焼肉懇親会：8月」「バス旅行：9月」

○支部独自行事では「6月の定期総会」をはじめ「新年会・暑気払い・忘年会」を実施しました。

今後も、同窓会本部・地域支部・母校のご支援を頂きながら、支部会員一同頑張って行きます。若葉区・緑区に在住する同窓生の皆様には、先ず春の「同窓祭」に参加して楽しい雰囲気味わって下さい。また前述各種行事に興味のあるものには「オープン参加」も歓迎しますのでご連絡願います。その上で「支部入会」をご検討頂ければ幸いです。



写真は総会に於ける校歌斉唱の様様

⑨千葉市中支部だより

支部長 古川 仁司 (25E)

●電話/043-227-4076

●地域/千葉市中央区全域

●定期総会/平成25年7月14日(日) 千葉市 プラザ菜の花

事務局長 小安 秀次 (38M)

平成24年は千葉市中支部にとりましては大変悲しく辛い出来事が起きてしまいました。ご周知の通り、支部のリーダーである岡本支部長が2月21日に逝去された事があります。ご葬儀の折、本部役員はじめ他支部会員の多くの方にご参列戴き誠に有難う御座いました。改めて御礼申し上げます。

岡本支部長亡き後は支部規約に基づき、支部長代行に篠崎庄一郎さんが就任され、7月8日の支部総会まで支部運営を担う事となりました。

又、7月8日の支部総会では新支部役員の提議があり、支部長に元支部長である古川仁司顧問が推挙され就任致しました。再任でありますので支部運営等に付きましては熟知されており支障ありませんが、昭和25年卒で80歳を超えた高齢であります。関係各位のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

行事関係について前号でも述べた通り、千葉市3支部は共催で諸行事を実施しております。23年は東日本大震災の影響で中止となった行事が多くありましたが、24年度

では概ね復活実施する事ができました。尚、福島原発事故の影響も有り中止となった行事も発生しました。

例年、千葉市東支部の岸本様宅裏庭で実施された竹の子狩りとバーベキューの集いについては、裏庭の竹林が宅地開発される事となった為、代替地での開催を計画したのですが、県内各地に於いてセシウム汚染が発生している状況でしたので中止になりました。

前年の震災で工場に甚大な損傷が発生し中止となった、サッポロビール船橋工場見学とバーベキューの集いは、工場の復旧により再開され、多くの会員が参加されました。又、バス研修旅行も毎年千葉市の福祉バスを利用して実施されてきましたが、前年は時節柄を考慮して中止となった芝山はにわ博物館、航空博物館等への研修旅行を実施しました。

平成25年度の行事予定については、千葉市3支部幹事会で打ち合わせ決定する事となりますが、概ね例年通りに実施される事と思われます。大きな事業としては創立20周年記念行事が秋に予定されております。



欧州定住への旅はシベリア鉄道経由だった。

1979年、横浜港に同級生の渡辺邦夫君、勤務先の明治乳業の先輩、そして両親が見送ってくれた。

74年から始めたアルペンスキーに本格的に取り組みたかった。音楽の国で好きなギターを弾き楽しみたい。夜学んだ法政大学の授業で興味を覚えた。欧州経済史を現地で確かめてみたい。これらが私をオーストリア(奥太利。以下、奥と略)へと駆り立てた理由だった。

教育委員会公認の試験官に

最初は屋根裏部屋のような所に住み、スキーの名門シュルンツ校で子供等に教えたり、ギターの個人教授で生計を立てた。83年ギター教師公募の試験に合格し、正式にドルンビルン市の国立ギムナジウム(4年制の小学校卒業後に進む8年制の中高等学校)の教師になる。

奥は楽都の国だ。楽器を演奏できる人が多く、カラオケは無いがどんな小さな村にも音楽隊はある。世界中から音楽を目指す学生達が集まる実力の世界だ。市の人口は4万5千人、音楽学校には2千人以上の子供たちが習いに来ている。

当初からギターの実技指導が、現地の教師よりも巧いと校長も喜んでいて、対象は5年生から8年生で、一番大事な音楽を理解して楽しむということが上手だ。日本人には欠けている点だが、ギターで卒業試験を受けられる。約10名の教育委員会公認の試験官と公開見学者の前でギター演奏し、音楽の歴史・基礎などの質問に答える。試験官全員で判定し、私も結構生徒の点数を助けた。

日本と異なる学校・教育事情

実は私が外国に来た理由はもう一つあった。日本の半封建的な風習や上位者による力の支配が厭だったからだ。千葉工業時代の野球応援などの練習は個人の人格を無視したものだ。この悪弊も“バンカラの伝統”と教師は黙認していた。欧州では宗教の時間に自分より弱い人への暴力は、最大の悪で犯罪だと教える。

当地にもバンカラの風習はある。中世の時代の決闘が今でも大学内のグループ同士でやられている。私の元生徒も顔にサーベルの傷を負った者もいる。代表が闘い斬られたら終わり、というルールは守られている。独ハイデルベルク大学には以前学生牢があった。罪を犯した者が入るが授業出席は許されるので、帰



りにワインや食物を買い込み大宴会を続けた。当局は困り率は廃止された。

奥の大学生は学費は安いし特典も多い。田舎に比べ大都市の学生は遊びに夢中で卒業に年数がかかるEwig student(永遠の学生)が沢山いる。

ギムナジウムではきちんとした規律の下、自由で個人の能力を伸ばすことを大切にしている。始業式は教会での礼拝から始まり、国旗や国歌をなんて事は無い。国が自信を持っているからだと思う。校長は全教員の投票で決め、教育委員会に申請する。教員労働組合は校長を含め全員が加入しストライキも2回経験した。

11年間の教員生活は大変楽しいものだった。毎年卒業予定者主催のクラスコンパなどがあり一晩中、一緒に飲み踊り明かす。法律で16歳以上は酒・煙草はOKだ。生徒達と野球チームを作り教えた。プレーは下手くそでもゲルマン系は組織作りが旨い民族で、規約もすぐに作り厳守する。試合後はすしパーティーなどで大いに盛り上がる。

各国の遺跡・建造物などを巡る

その後日本に帰国してから考古学の発掘調査もした。年金受給(日奥)後は再び滞奥生活で各国を旅行している。ギリシャ・ローマ時代の遺跡やバロック期の教会・建造物、美術・音楽史蹟などを見学・研究している。現在住んでいるブレゲンツ市(スイス国境のボーデン湖畔)近くの聖ヤコブの巡礼道(欧州各地からスペイン北西端のサンチャゴまで)を調査中だ。四国遍路のように人生の区切りで歩く人が多い。私も欧州の地に足を踏み入れ今年で40年の節目を迎える。

皆様もアルプスの大自然と豊かな文化を楽しみに、音楽と芸術のオーストリアにどうぞお越しを。

外房ハワイアンダンス

バンドボーイ：松本 信行 (34M)



後列左より牧田、松本
前列左より早野、住田、高橋、計良



田中武志(31E)さん主宰の「げんき会」
(市川失語症友の会)



徳生会ホーム「まきの木苑」

2008年夏に、東金、大綱、茂原在住の同窓生4人で「爺様バンド」を結成・・・

その年の秋に「千葉市3支部結成15周年記念祝賀会」で演奏させて頂いたのを機会に、一同一念発起して練習に励んでいます。支部の忘年会で、いくつかの候補の中から「外房ダンス」と言う名前を選んで頂きましたが、「スチールギターがいるからハワイアンを入れた方がいいよ」と言う意見が出て「外房ハワイアンダンス」となりました。レパートリーはハワイアンだけではなく、ポピュラーソングや歌謡曲、童謡もあります。選ぶ基準は、何と言っても「演奏し易いやさしい曲」と言う事になります・・・(涙)。

今ではメンバーも6人に増え、老人ホームやディサービスなど、延べ30回近くボランティア演奏を行っています。最近では特に忙しく、売れっ子状態(本人達が勝手にそう思っているだけで押しかけボランティアに近いのですが・・・)です。

演奏活動の中で一番嬉しいのは、何と言っても、聞いて下さる皆さんに喜んで頂ける事でしょう。特に老人ホームなどでは、歌詞カードをお渡しして一緒に歌って頂く事がありますが、中には、涙を流しながら歌って下さるご老人もいて「きっと思い出のある歌なんだな・・・」などと、演奏している我々も「感無量」となる事があります。

＜メンバー＞

スチールギター：早野三千男(36E)／ギター：計良博光(早野友人)／リズムギター：牧田 宣(早野会社後輩)／ウクレレ・歌・司会：高橋正己(32C)／ベース：松本信行(34M)／打楽器：住田敏和(31E)。

フラダンスで、演奏に華を添えて下さる「ブメハナフラサークル」は「いすみ市」在住の皆さんです。

老人バンドですから、何時どうなるかわかりませんが、同窓生の皆さん、ご要望があれば、何処へでも手弁当で駆けつけますよ・・・

『陸上競技と私』



私、平成25年5月で満67歳になります。

現在、陸上競技の競技役員として年30日位のボランティア活動を行っています。自分自身も、毎日5Km～6Km走っています。お陰様で、病氣らしい病氣をしたことも有りませんし、献血も77回を数えました。仕事もまだ現役です。

千葉工業高校を卒業してから早、48年、その間の駆けっこについて書かせてもらいます。

1. 陸上競技を始めたきっかけ

野球部を、3年まで続けました。一緒に通っていた同級生が、陸上競技をやっており、その誘い文句が、野球は、ヘボなんだから、走りにバネの有る陸上競技の方が向いていると言う事でした。そんな事を何回か言われるとその気に、なってしまうのが人間かと思えます。3年の9月から入部し、初めの1カ月は、持久走、インターバルトレイニング

等々、悉くついていけず悔しいなあと思いました。そして、県高校駅伝、地区の印旛駅伝などを走り、走る事の楽しさを味わいました。耐寒マラソン13kmでは、大方の予想を裏切って、トップを独走していましたが、ゴール前で抜かれ2位でした。

2. 選手として

藤倉電線(フジクラ)陸上競技部及び成田市代表で、30年程、トラック及び駅伝等で走っていました。その中で印象の強いレースを三つ程一つ目は、8月の真夏日に、日射病でフラフラになり、ゴール後、救急車で、病院に運びこまれた昭和47年印旛郡市民大会5000mでの出来事です。トップを独走してあと4周(200mトラック)というところから、足元が浮いている感じになり、前に進まず変だなあと思うようになりました。周りから見ると千鳥足で、やめさせろという人もいたが、大部分の役員は、そのまま、走るのを容認したようです。当時は、水は飲むな、フラフラになっても走り切れと言う根性論の時代でした。結局は、日射病でし

たが、前日宴会で、したたか飲んだのが原因でした。

二つ目は、昭和46年千葉国体予選で、5000mを走りました。これも、真夏の暑いときで、当時、この種目の日本記録をもっていた順大の沢木選手(先生)と走り、私は、16分05秒で、走ったのですが、1.5周もおいていかれました。フォームがきれいだし、足も良くあがっており、走りに余裕が有り日本の第一人者だなあと思いました。同じ走るでも我々は、大汗を流し、喘ぎ喘ぎ走っているのです、大きな差を感じました。当時、千葉県では、5,000mを16分前後で走っていると上位に入れました。

三つ目は、都の駅伝大会で村山貯水池及び狭山湖周辺で2年連続江東区の代表として走りました。6月の梅雨の雨の中ズブ濡れになりながら、7.8km 走ったこともありました。その内の1回の時、帰りに晴れて、多摩湖の堰堤で夕陽を眺めながら走りきった後の安堵感に浸ったことは、今でも忘れません。私としては、トラックでも、駅伝でも、後を向くことは、どんなに苦しくても一度も有りませんでした。自分に、負けているようでいやでしたので、今は、健康のために走っているのですが、ついついハアハアするまで、走ってしまいます。

3. 競技役員(審判員)として

審判員として、良く参加するようになったのは、27年前の国際千葉駅伝からかと思えます。というのは、第1回目で、瀬古選手の現役引退の、その時ウォームアップ場係を務めました。それ以来、この大会は、今年で、27回を数えま

した。海外にいた3回を除いて、24回参加しております。任務としては、監察が多く、選手が安全に走れるよう走路の確保、観客の整理等も行います。

毎年2月に行われる国際クロスカントリー大会が、千葉市の昭和の森であります。こちらの方は、最近、ドーピング係をしています。海外からの招待選手、高校、大学、一般のトップクラスの走りが見られます。係の関係で男女のジュニア(高校生、大学1、2年生)及びシニア(大学3、4年及び一般)の部のあらかじめ指定された順位の選手に、ゴール後、通告し、医師の所につれて行くのが役目です。尿がなかなか出ないので、選手、監督と話しをします。今年行われた、ロンドンオリンピックの日本代表マラソン選手、実業団駅伝、箱根駅伝、高校駅伝等で、活躍している選手等々、冬場のトレーニングをしているのが昨今です。

以上は、日本陸連主催の国際大会ですが、県レベルの大会としては、昨年行われた千葉国体5日間、引き続き行われた身体障害者の全国大会3日間とも参加させて頂きました。その他、県の大会(県選手権、国体予選、県民マラソン等々)地域大会(成田POPラン、佐倉健康マラソン等々)に参加しています。成田POPラン大会では、この10年程、審判長をやらせて頂いています。

永年、陸上競技に携わってくると地元で育った子供達が、師走の高校駅伝に3年連続して都大路を成田高校女子チームが走りました。箱根駅伝でも3人程、そして実業団駅伝でも走る選手がいることは、うれしいことです。



私は障害者施設で介護の仕事をしています

假屋 竜二 (H8E)



私は障害者施設で介護の仕事をしています。介護と言うと老人介護を思い浮かべる方も多いと思いますが、障害者施設なので必ずしも老人ではなく、私が働く施設は20代から60代ぐらいの間の身体・知的障害者の人たちが利用しています。

寝たきりの人は少なく、ほとんどが自立歩行あるいは車椅子で生活しています。しかし全員が自由に動き回れるわけではなく、排泄や入浴など以外は一日車椅子の上で動かず過ごす利用者もいます。また自立歩行や車椅子での移動が出来ると言っても、障害のため転倒や衝突などの怪我のリスクが常について回り、気の抜けない日々を送っています。

仕事は食事、排泄、入浴、起床・就寝、日中活動、外出、催事の企画・運営、書類作成などです。

一日の基本的な流れは起床、朝食、入浴、昼食、入浴、夕食、就寝となっていますが、日中の入浴、昼食、入浴の間に日中活動や外出などに出る利用者もいます。入浴は毎日ありますが、全員が毎日入るのではなく、各々週二回の入浴となっています。

普段施設内で過ごしている利用者が一番楽しみにしているのが、外出や家族との面会・外出です。その為出来るだ

け多くの利用者を外出させたいのですが、外出は常に行動をともしなければならぬので、慢性的な職員の人手不足により、一度に多くの利用者を出すところが困難な状況が続いています。

これは全国の介護関係全ての施設が抱える大きな問題で、私が勤める施設も例外ではありません。肉体的にも精神的に負担の大きい仕事の為、現職員の中には腰や腕などに痛みを訴える者もいます。中には心が折れてしまう人もいます。

その様な話がどこかしこで囁かれる為、介護職は敬遠されてしまうのも原因の一つだと思います。実際に私も断続的に手首・腕・背中・腰などが痛み、肉体的な負担を感じることもあり、また最近は顔を合わせたくない利用者がいて、精神的な辛さからその利用者を避けてしまうこともあります。

全ての人がそうではないと思いますが、同じようなことを感じている人は多いと思います。だからと言って介護の仕事が辛いことだけということではありません。日々の生活や外出・催事で利用者から感謝の言葉を貰ったり、喜ぶ顔を見るのはとても嬉しく遣り甲斐も感じています。

介護の実情を知った上でそれでも介護職に携わりたい、そんな人たちが増えてくれれば良いと思います。



昭和も遠くなりにはけり



松岡 豊彦 (20M)

昭和も遠くなりにはけりこんな題名の本を友人から頂き「明治は」と言われてきましたが、「昭和も遠く」となってしまいました。私達は昭和3~4年に生を受け、それは昭和恐慌の時でした。大学を出ても職はなく波乱万丈の大変な世の中で育ち支那事変、第二次世界大戦、そして学徒出陣、中等学校以上の生徒学生は閣議決定で軍需工場に動員され私達は木更津の航空廠に入り2名から5名の単位で工場に分散され飛行機の部品を造らされました。

やがて敗戦近くになり東京大空襲で10万人以上の死者を出し、広島、長崎に原子爆弾が投下され昭和20年8月15日終戦、その後は衣食住は最低でこれから日本はどうなるかと経験をした人でなければ判らない時代でした。戦争に敗れどん底の生活から皆の努力で世界第2位の経済大国になり(今では

中国に抜かれたが)よく頑張ってきた事と思います。一昨年の中日本大震災の復興も皆の手で一日も早く立ち直れると信じています。

私達は平成24年5月19日に千葉の「をざわ」で最後のクラス会を催しました。さすがに出席は7名でしたがいろいろと想いで話に花が咲き動員の話になると口角泡を飛ばしていました。共に戦中戦後生き抜き昭和の時代も終り齢八十余歳。本当に昭和も遠くなりにはけりです。最後のクラス会となりましたが私達は机を並べたのは一年と一学期で後はバラバラでした。しかし絆は大変に強いものと実感したクラス会でした。この絆を維持して頂いたのは名幹事の国友氏の力と感謝をしています。

これからの時代を背負う人達に今以上の日本を築いて頂く様お願いして筆を置きます。



プロフィール

在学時代から今の私

高橋(馬場) 実里 (H6IE)



木更津第三中学校出身。登校ルートは、久留里線祇園駅から木更津駅で内房線に乗り換え、蘇我駅へ。在学当時は、テニス部に所属していて、学校帰りによく、つぼくた商店で買い食いしていました。夏、すごく日焼けして真っ黒でした。

生徒会では、文化祭や予備会の準備、企画、運営など、色々な経験ができてとても楽しかったです。

卒業後は、コンピュータ系の専門学校に進学した後、地元の会社に事務員として就職しました。その後、事務職をいくつか経験し、その中で重機を少しさわる機会があり、建設機械に興味を持ち職業訓練を受け車両系建設機械やクレーンの資格を取得しました。教習所にも行き、大型、大型特殊の免許も取得しました。

現在は、レンタル会社に勤務、小さな発電機や電気機械などのレンタル商品の点検整備、また、トラックなどの車両をお客様の現場へ納入したりしています。毎日色々な仕事をする事が出来て楽しいです。

家では、子供2人(長女小6、長男小5)と母と4人で生活しています。週末は家の片付けなどしながらのんびり過ごしたり、ドライブに出かけたり、子供たちのミニバスケットボールを見に行ったりしています。趣味は、家でDVDを観たり、読書です。

子供たちが毎週末スポーツをしていたり、学校の友達と遊んでいるのを見ていて、学生の時は毎日学校に行き、友達と顔を合わせ、卒業直後はクラスの友達と週末などよく会い、部活のOB会などにも参加していたのに、今は決まった数人と、本当に時々連絡を取る位で、なかなか定期的に友達と連絡を取り合ったりすることが無くなる中で、ずっと続いている同窓会は「すごい!!」と思い、私も同窓会に参加をしたいと思います。年齢が違って、同じ学校を卒業していると言うのを聞くだけで何となく嬉しくなるし、学校周辺の様子など共通の話題があったり、知らなかった事が聞けたり、そういう出会いが同窓会を通じて増やしていけたら良いと思います。行事など、予定が合えば是非参加させて頂きたいです。

千葉工業高校 この一年

創立記念講演会



平成24年5月18日、世界的に活躍をされている松井画伯が本校に来校下さり、御講演されました。

旋盤競技同好会ものづくりコンテスト 関東大会出場・技能五輪全国大会出場



神田 直人君 後藤 尚紀君

高校生ものづくりコンテスト千葉大会旋盤作業部門で、情報技術科3年 神田 直人君が準優勝し、関東大会に出場、5位に入賞しました。

また、昨年度全国大会に出場した、OBの後藤 尚紀君が(株)日立産機システムから第40回技能五輪全国大会 旋盤作業の部に出場しました。

機械発明創作部 ロボット相撲 全国大会出場



第24回全日本ロボット相撲関東大会で、電気科1年 松本 稜君、電子機械科2年 西元 力君がラジコン型で第6位に入賞し、全国大会に出場しました。

また、同大会、高校生の部で、電子機械科3年 関口 輝君、電子機械科3年 常木 俊孝君がラジコン型で準優勝し、全国大会に出場しました。

電気発明創作部 関東大会出場



昨年度、第28回総合技術コンクール、電気工事部門の部門で知事賞(優勝)を受賞した、電気科2年 鳥海祐督君が関東甲信越地区電気工事コンテストで第5位に入賞しました。

自動車部 HONDA エコマイレージチャレンジ2012



9月18日ツインリンクもてぎで行われた大会において、ガソリン1リットルで1248.006Kmを走り、12位/148チーム中という記録でした。

弓道部 関東大会出場



工業化学科3年 阿部 浩之君が男子個人の部で関東大会に出場しました。

山岳部 JOOC出場



山岳部では、電子機械科3年 新川 裕希君が第15回JOOCジュニアオリンピックカップ大会に出場しました。

ベトナム国際交流事業



今年度も姉妹校でもある、ハノイ工科短期大学との交流事業がおこなわれました。

7月にはハノイ工科短期大学の教員が来校し、研修がおこなわれました。また、8月28日から31日まで、本校生徒6名、引率職員2名でベトナムを訪問しました。現地では大歓迎で迎えられ、同窓生の湯浅 稔(38M)さん指導の竹とんぼを披露したり、交流会などをおこないました。

2年生がインターンシップ

今年度のインターンシップは平成24年10月29日から11月2日でおこなわれました。お忙しい中、110社の企業に128名の生徒を受け入れていただきました。将来の進路について大変参考になりました。

第60回 千工祭



11月10日、千工祭がおこなわれました。当日は深山副会長が委員長を務める「開かれた学校づくり委員会」が開催され、学校に対する貴重なご意見をいただきました。また、小学生親子ものづくり教室も開催され、大盛況でした。

体育祭 開催



今年は久しぶりに体育祭が復活しました。11月14日、晴天に恵まれ、各競技に励みました。

総合技術コンクール 知事賞受賞



12月1日、千葉県の工業系高校の生徒を対象に、第29回総合技術コンクールが市川工業高校でおこなわれました。日頃の学習活動で身につけた高度な技を、10部門の競技で競い合います。本校では最高の賞である知事賞を、過去最高の5部門で受賞しました。

- ・機械設計製図部門 電子機械科2年 高師 大和君
- ・電気工事部門 電気科2年 瀧口 航平君
- ・電子回路工作部門 電気科2年 鳥海 祐督君
- ・ロボットコンテスト部門 定時制 紙本 亮君
- ・ライントレースカー部門 情報技術科3年 田中 達也君

鳥海君は昨年の電気工事部門知事賞受賞なので、2年連続の知事賞受賞です。

定時制 梅澤 利光さんは参加選手中最高齢。みごと努力賞を受賞しました。

平成24年度 進路状況 (全日制)

H25.1 現在

●就職内定者113名(希望者117名) 内定率96.6% 求人数715人 求人倍率6.1倍

【就職先】JFEコンテナ株式会社千葉工場 JFE建材株式会社 J-ロジテック株式会社 KHネオケム株式会社千葉工場 いすゞマリン製造株式会社 コスモ石油株式会社 サクシード株式会社 シチズン千葉精密株式会社 チョダウテ株式会社 ディップソール株式会社 デンカポリマー株式会社五井工場 トヨタカローラ千葉株式会社 ニチハマテックス株式会社 旭ダイヤモンド工業株式会社千葉鶴舞工場 一般財団法人関東電気保安協会 王子コーンス 株式会社カナモト 株式会社カンドー 株式会社センコー 株式会社ディック電子 株式会社ミズレック 株式会社ムラオ 株式会社モリタ環境テック 株式会社ラインワークス 株式会社関電工 株式会社丸山製作所千葉工場 株式会社新三興鋼管 株式会社東京エネシス 株式会社NTT-ME (エムイー) 株式会社ジャパンベール 株式会社センチュリー・システムズ 株式会社マキタ 株式会社メリーチョコレートカムパニー 鴨川グランドホテル 京葉シーバース株式会社 協同組合千葉施設管理センター 玄海電設工業株式会社 広栄化学工業株式会社 千葉プラント 合同製鐵株式会社船橋製造所 三井化学株式会社市原工場 三井造船千葉機工エンジニアリング株式会社 三菱化学メディエンス株式会社 山九株式会社君津支店 山九株式会社千葉支店 山崎産業株式会社 習和産業株式会社 住友建機株式会社 住友重機械モダン株式会社 小峯電業株式会社 湘南積水工業株式会社 新興サービス株式会社 新日本製鐵株式会社君津製鐵所 大成温調株式会社 大和電建株式会社 第一貨物株式会社東京支店 塚本総業株式会社千葉支店 東レ株式会社千葉工場 東海マテリアル株式会社 東海旅客鉄道株式会社新幹線鉄道事業本部 東関東メルテック株式会社 東京ガス株式会社 東京地下鉄株式会社 東芝エレベータ株式会社東関東支社 東日本旅客鉄道株式会社 東邦電気工業株式会社 藤本電業株式会社 日産自動車株式会社 日東工業株式会社 日本メジフィジックス株式会社千葉生産部 白鳥製薬株式会社 品川リフラクトリーズ株式会社千葉事業所 北越紀州製紙株式会社 明正工業株式会社 東京都消防庁

【大学・短大】江戸川大学 国立清水海上技術短期大学校 淑徳大学 神奈川工科大学 千葉科学大学 千葉県職業能力開発短期大学校 千葉工業大学 東京情報大学 東京電機大学 日本大学

【専門学校】ホンダテクニカルカレッジ 市原高等技術専門校 千葉県自動車大学校 船橋高等技術専門校 大原簿記公務員専門学校 東京デザイン専門学校 日本工学院専門学校 日本自動車大学校 日本電子専門学校

◆編集後記◆

極暑・早い冬・遅い震災復興・スカイツリー、五輪・ノーベル賞受賞・恒例の首相交代等一年が過ぎました。24号は明るく楽しい記事として千葉工業の生徒さんと松井画伯の交友についてお願いしました。編集委員も北総支部は橋本さんから遠藤さん、東葛支部は富田さんから金子さんの交代がありました。編集委員長：若月忠良(37M、北総・京葉)、副委員長：住田敏和(31E、外房・東葛)、事務局長：松浦悟(53E、千葉工)、委員：比連崎正幸(60M、南総)、松崎文男(37M、外房)、大橋政孝(54E、千葉市西)、宇野昭房(34M、京葉)、大野繁樹(36M、京葉)、遠藤清司(41C、北総)、金子賢二(34M、東葛)、野村

隆男(35E、千葉市東)、関口昌利(30M、千葉市中)の皆さんと編集しました。

【広報編集委員会の活動報告】

- ①7月上旬 各支部長に編集委員選出
 - ②7/21(土) 第23号反省会
 - ③9/14(金) 第24号第1回 編集方針
 - ④11/16(金) 第24号第2回 原稿集め
 - ⑤25/1/11(金) 第24号第3回 校正
 - ⑥25/3/1(金) 第24号同窓会報 発行
- 等を実施しました。

千葉工業同窓会 役員名簿

2013年1月1日現在

会長	顧問
高橋 正己 (32C)	段木 正視 (20C) 松本 透 校長

副会長	事務局	会計監査	環境整備委員長
総務担当 深山 傳 (38E)	局長 松浦 悟 (53E)	宇野 昭房 (34M)	大野 繁樹 (36M)
広報担当 若月 忠良 (37M)	次長 中村 啓介 (60E)	高石 進 (35M)	
レク担当 木間 英一 (33C)		斎藤 公彦 (37C)	
同窓祭担当 宮崎 一雄 (42C)			

第28回「同窓祭」開催のご案内



第27回同窓祭のスナップ

同窓生の皆様お元気ですか。皆様のご支援ご協力により「同窓祭」も28回を迎えます。例年、吹奏学部OBの演奏・竹とんぼ教室等で盛り上がっています。

私も同窓祭実行委員は同窓祭に参加される皆様が「楽しかった。参加して良かった。」と思って頂けるようにと考えております。

懐かしい恩師の先生方もお見えになります。同級生はもとより、クラブ活動、或いは通学を共にした仲間を誘って是非ご参加下さいますようご案内申し上げます。

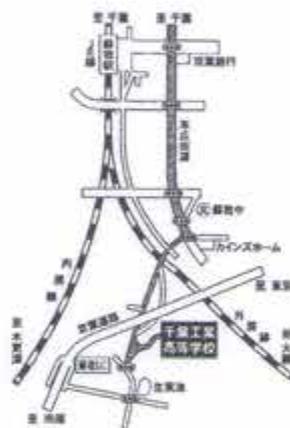
同封の振込用紙にご出席の有無を記入して、会費また同窓会報基金に賛同いただける方は3月15日までに送金願います。なお、その近くにならないと都合がつかない場合は、当日会場受付いたします。その後の同窓会報基金の振込は、何時でも何口でも歓迎いたします。

なお、既に学校敷地内での喫煙は禁止されており、飲酒についても好ましい状況ではなく、昨年に続きアルコール類は無しで実施することにご理解願います。

- 日 時 平成25年4月21日(日) 11:30 ~ 13:30
- 場 所 千葉工業高等学校 食堂
- 会 費 2,000円(振込用紙にて)

注：会費は昨年より値上がりしています。

- ・喜寿のお祝いを予定しております。該当者は、生年月日の記入をお忘れなくお願いします。(該当者：昭和11年1月1日から昭和11年12月31日生)
- ・JR蘇我駅より徒歩約20分、駐車場が無いので、公共交通機関を利用し来校するようお願いいたします。



千葉工業高校ホームページで開催をお知らせいたします。

同窓会総会の開催

3年に1回開催する「総会」を開催します。常任幹事、幹事(各クラスから選出、各地域支部から推薦)はもちろん、すべての同窓会員がご参集ください。

- 日時 平成25年5月26日(日) 14:00~16:00
- 会場 千葉工業高等学校 会議室(本館2階)
- 議事 会務報告・会務計画・役員改選 他

原稿・情報をお待ちしています

多くの皆さんの声を掲載して、身近な同窓会報を目指します。ご意見・提案・情報を事務局・編集委員までお知らせ願います。

広報編集委員会

題字 安藤 信吉 (20M)

千葉工業同窓会報

第24号

発行日 平成25年3月1日
 発行者 千葉工業同窓会 会長 高橋 正己
 事務局 〒260-0815
 千葉市中央区今井町1478
 千葉県立千葉工業高等学校
 TEL043-264-6251 FAX043-268-5524

千葉工業高等学校ホームページ <http://www.chiba-c.ed.jp/chiba-th/>